

内閣総理大臣
安倍晋三様

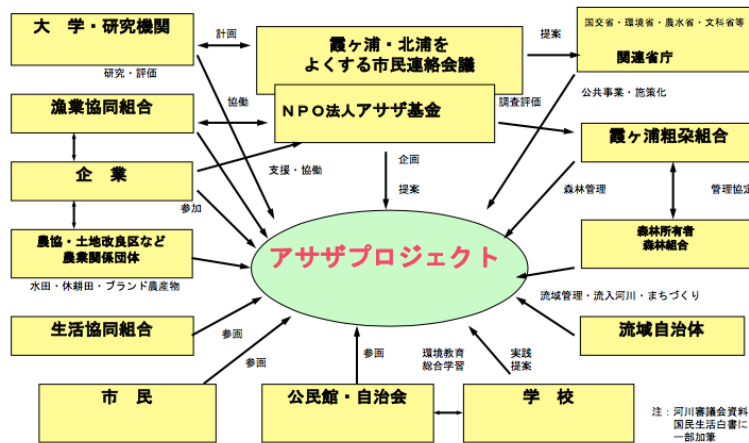
NPO 法人アサザ基金
代表理事 飯島博

新型コロナウイルス対策に関する緊急提案

新型コロナウイルスの感染拡大により、マスク不足が問題化しています。マスク不足の背景には、マスクの製造拠点が中国などの海外に偏っていることがあります。今回の事態は、日本社会が生活必需品の生産に限らず、労働力や市場を中国に依存するリスクを明らかにしました。

アサザプロジェクトは、1995年から霞ヶ浦再生を目指して、多様な主体の協働によるネットワーク事業を推進してきました。中心の無いネットワークにより地域に想定外の出会いと協働を生み出し、自己完結させない付加価値の連鎖でつながる様々な事業を展開してきました。

中心に組織の無いネットワーク～市民型公共事業



私たちは、アサザプロジェクトのネットワーク事業やこれまでの経験を基に、今回の事態について以下の提案を致します。

【概要】

1. 現在、休業に追い込まれている事業者にはマスク製造機の貸し出し、生産を行なってもらう(雇用の維持)。
2. 生産されたマスクを、地元のNPOや休校中の学生ボランティアが高齢者な

【期待できる効果】

これらの体制づくりを行うことで、地域の協働の輪、縦割りではないネットワークの形成を可能とします。東日本大震災の時のように、想定外の危機を乗り越えることができる地域の担い手の創出を期待できます。今回の危機を未来に生かして、柔軟かつ迅速に各地域が主体的に対応できるようにします。

日本社会をはじめ世界において、新型コロナウイルスが社会・文化・経済面で非常に大きな影響を及ぼしている事態や、東日本大震災のように何十年にも及ぶ被害をもたらす事態は、今後も起こる可能性が大いにあります。その場しのぎの一過性の取り組みよる対策に終わらせることなく、将来想定される危機に備え、社会システムの転換を目指しアサザプロジェクトが進めてきた対話的分散事業を参考にした危機対応への発想転換を、国や自治体に求めます。

NPO 法人アサザ基金 住所 〒300-1222 茨城県牛久市南 3-4-21

電話 029-871-7166

E-mail asaza@jcom.home.ne.jp